



「いしかわ観光特使」活動報告書

氏名	小幡 彰
職業等	事務職

今回は、以前勤務しておりました会社のグループ会社の方（既に定年退職しておられ現在は千葉にて裏千家の師範として活動中）からお茶のお弟子さん達を伴い生まれて初めての北陸を訪れたいという希望がありました為、希望訪問地行程を企画の上、「北陸癒しの旅」と銘打ってご案内しました。

同氏とは昨年秋に富山八尾の「越中おわら風の盆」にお連れして以来のお付き合いですが、その際に仕事柄、石川の伝統工芸品を見て寒鰯・ずわい蟹・温泉、それから福井の永平寺と一乗谷の朝倉氏遺跡を訪れたいとの事で、去る2/18(金)～20(日)の2泊3日コースを作りました。同氏の希望により、行きは越後湯沢経由の新幹線とほくほく線特急にて鉄道金沢へ、帰りは小松より航空機にて帰京としました。

（1日目）

東京駅発7:00⇒金沢駅10:53。到着後9人乗りレンタカーを3日間借りて、駅から金箔工芸店「作田」へ直行。石川の素晴らしい金箔工芸の技を堪能して、老舗料亭「金城樓」にて昼食（事前に当方の予算をお話して心良く引き受けて頂きました。因みに@5,000円のお料理）庭園と椅子席による落ち着いた和室と芸術的な料理に大満足。午後は、すぐ傍の「東茶屋街／主計町茶屋街」、更に徒歩にて「大樋美術館」で貴重な茶器等の見学をした後、道路の向かいにある移転間もない和菓子の「森八」本店にてお茶菓子を堪能。その後車にて「近江町市場」に向かい、新鮮な魚や美味しい加賀野菜等を購入して、お店からクール宅急便にて直接東京の各自宅へ発送。（翌日には到着して留守家族は歓喜の涙）

1日目最後は小立野の「県立伝統産業工芸館」にて県の素晴らしい伝統工芸品を見学して宿泊先である尾山神社のすぐ傍にある、懐かしさと安堵感を覚える老舗の「金沢ニューグランドホテル」に向かいました。夕食はお寿司の希望があったので、武蔵が辻スタジオ通りにある「祥寿司」（ご夫婦で店をされており、とても家庭的でご主人は大変腕が良く、とても美味しい寿司を良心的なお値段で握ってくれます。）で味わいました。

（2日目）

ホテルで朝食後、きりりと引締まる早朝の空気の中、すぐ先の前田利家公を祀る「尾山神社」を参拝し、車で朝の「兼六園」と「金沢城」へ。（二箇所訪問でお得な入場券があります）金沢城内では菱櫓と五十間長屋に入り江戸時代当時そのままの建築法で再現された素晴らしい内部を見学。そして昼食は男川と呼ばれる犀川（浅野川は女川）河畔の素敵なお料理亭「杉の井」にて御山弁当と名物の葛切りを、（女性はお得な女性コース、いずれも@3,000円程）これまた落ち着いた中庭を眺めながらのお部屋でリラックスしながら味わいました。その後、近所の「西茶屋街」にて金沢市企画の「金沢芸奴のほ

んものの芸にふれる旅」をお茶屋さんの「美音」で満喫。@3,000円（お茶とお菓子付）で約1時間踊りや唄と太鼓遊び等たっぷり披露され、参加した観光客（約15人）も全員参加で大変楽しいひと時を過ごしました。そして再



び車で長町の「武家屋敷」に行き屋敷内を見学できる「野村家」にて抹茶とお菓子で、ゆっくり百万石時代を味わいました。

この後金沢を離れ、車で高速道経由、小松空港の少し先の柴山潟畔にある片山津温泉郷に約1時間で到着し宿泊の「佳水郷」で温泉に早速浸かり至極のひと時となりました。風呂からは潟を通して雪を頂いた美しく雄大な白山連邦が目前に広がり、最高の贅沢となりました。3日目に橋立港で蟹料理を計画しましたので、佳水郷での夕食は蟹以外の旬の料

理をお願いし、最高に美味しい石川の日本酒での宴でした。

（3日目）

大浴場から柴山潟と、奥に聳え立つ白山からの日の出を荘厳な気分味わい、美味しい水の里での旨いご飯と味噌汁、一夜干等で3杯もお代りしてしまいました。

朝食後、曹洞宗大本山の永平寺参拝の為、車にて高速経由で福井県に向かいました。福井北で高速を下り九頭竜川沿いを一路「永平寺」へ。その荘厳さには心を打たれました。お寺に行く途中には鮎料理で有名な松岡町や福井の銘酒「黒龍」酒造蔵も楽しみ。昼前にお寺を出て、すぐ近くの「一乗谷朝倉史跡」（今年の大河ドラマ、江姫の浅井家と親交のあった朝倉家で、最近再現された住居群は実に見事で一見の価値有。）見学後一路東尋坊へ。昼は小職が金沢勤務時に福井への仕事の際、必ず食べていた（越前蕎麦）を味わってもらおうと、福井市内の「つるき蕎麦」にてお薦めのおろし蕎麦を賞味。昼食後に「東尋坊」で絶壁と冬の日本海を眺めました。



その後、約50分程で加賀市の橋立港近くのお店でお土産の新鮮な海の幸を納得の料金で購入し、徒歩で民宿「平井屋」へ。空港に向かう時間まで約3時間、日本海が眼下に見え波の音が心地良い部屋で、心ゆくまでズワイ蟹を堪能しました。メニューは獲れ立てのズワイ蟹の刺身・焼き・茹で等で新鮮な子持ち甘エビ・寒鰯刺身・鱈刺身の後、蟹雑炊とデザート。東京では考えられないお手頃な料金と味で、地酒の（常きげん）でとてもリラックスしながら至福の時が、ゆっくり流れました。優しくて親切な女将さんとスタッフの方達の真心に触れる、素晴らしいひと時が過ごせます。

この後、車で小松空港に向かい20:20発の航空機で帰途につきました。お茶の生徒さんや、周りの方々に広くお薦めされるとの事でした。ご参加された方全員が初めて味わった北陸の素晴らしさ、石川県の魅力を興奮して語っておられたのが、とても印象的でした。